

アルファガーデン 11月の見どころ

※開花時期がずれることもあります



紅葉が進む季節です。淡路島は暖かいので、あまり紅葉は見事ではありませんが、当校の四季の庭のモミジの紅葉は左の写真(地図①)のようになります。
この他、学内では、下の写真左から、サルスベリ、オウゴンカシワ、カシワバアジサイなどの葉が色づきます。



【花木類(花や実を観賞する樹木)】 秋も深まり実がついてきています。



②ピラカンサ

トキワサンザシ、タチバナモドキなどを総称してピラカンサという。赤、橙、黄などの実が美しい。



③モッコク

常緑中木。庭木によく使われる。



④ガマズミ

全国に分布する落葉低木。実は食べられる。



⑤カマツカ

木質が堅いため鎌をはじめ農具の柄に使われた。



⑥ハクサンボク

ガマズミ属の常緑小高木。西日本に多い。



⑦ナンテン

難を転じるという縁起物で、庭木によく植えられる。



⑧キャラボク

イチイの変種。雌雄異株なので雌株にしか実はつかない。



⑨ヒイラギモチ

クリスマス飾りによく使われる。中国原産。



⑩クロガネモチ

日本の中部以南～インドシナまで分布。



⑪カリン

香りのよい実は生食はできないが果実酒などに最適。



⑫ザクロ

西南アジア、中東原産で、最も古くから栽培された果樹の一つ。



⑬コーストバンクシア

オーストラリア固有種の樹木。乾燥に強い。



⑭ヒイラギ(斑入り)

モクセイの仲間、花に芳香がある。



⑮ナワシログミ

垣根などに使われる常緑低木。花には甘い香りがある。

【草花類】



⑯シュウメイギク

古い時代に中国から渡来。別名キブネギクと呼ばれる赤花の八重を指す名だが、現在は数種類の交配されたものの総称。



⑰ホトギス

当校に植栽されているものは台湾ホトギス系の園芸品種。花の斑点が鳥のホトギスの胸の模様似ていることが名の由来。



⑱ミセバヤ

多肉性で丈夫で、古くから園芸栽培され、全国に逸出して見られるが、自生種ははっきりしていない。

◆秋を彩るサルビア類 <①⑨のエリア>



サルビア・レウカンサ 4 種

サルビア・レウカンサはメキシコ原産の大型宿根草。左から萼片も花も赤紫の‘ミッドナイト’、葉に斑が入った品種、原種に近い萼片が赤紫に花が白い品種、萼片が白で花がピンクの‘ピンクアメジスト’。



サルビア・エレガンス(パイナップルセージ) 葉をもむとパイナップルの香りがする。右写真葉が黄色の‘ゴールドデンデリシヤス’。

サルビア‘アンソニーパーカー’ エレガンスとレウカンサの自然交雑品種。

コバルトセージ 葉が糸のように細い。コバルトブルーの色が特に秋は美しい。



サルビア・インボルクラタ (ローズリーフセージ)
夏ごろから咲き、花序の頂部の苞が球体になる。

サルビア・アズレア
アズレアは空色の意味。草姿は暴れるが、切り戻しなどで調整できる。

サルビア・コクシネア
一年草として扱われるが、暖かい淡路では宿根する場合もある。左から‘レディインレッド’、‘コーラルニンプ’。

◆日本に自生のある野生菊（当校では植栽しています）



②① ノギギク
兵庫県花。瀬戸内海の海に近いエリアに自生するが、変異が多い。



②① イソギク
千葉～静岡の太平洋側海岸に自生。日本固有種。舌状花のあるものをハナイソギクという。



②② ノコンギク (淡路産)
田畑の畔に多い野菊。

